

2013-14年度 RIテーマ  
ロータリーを實踐し  
みんなに豊かな人生を  
ENGAGE ROTARY  
CHANGE LIVES



# 週報宇佐



孔雀文馨



RI会長  
ロン D. パートン



第2720地区ガバナー  
赤山 武興



宇佐ロータリークラブ会長  
藤本 博和



陵王面

- 例会日 木曜日 PM12:30
- 例会場 宇佐市沖須町1-19  
トキハインダストリー長洲店2F  
TEL (0978) 38-1112

会長 藤本 博和  
幹事 本庄 伸子  
編集 津々良 洋一

## 2月は 世界理解月間

### \*本日のプログラム\* (2月20日)

1. 会長の時間
2. 幹事報告
3. 委員会報告
4. スマイルカード
5. 外部卓話 末宗秀雄氏 (県議会議員)  
「県政報告」
6. 出席報告

### \*2月のプログラム予定\*

- 6日 会員増強フォーラム 末宗為十委員長
- 13日 内部卓話 津々良洋一委員長「雑誌月間について」
- 20日 外部卓話 末宗秀雄県議「県政報告」
- 27日 内部卓話 幡手一義会員「セミナー参加報告」

## 第2289回例会 平成26年 2月 13日 の記録

開会点鐘

- 🎵 ソング 我等の生業
- 🎤 ゲスト なし
- 🎤 ビジター なし

### 会長の時間

藤本博和会長

先週8日9日とクラブ研修リーダー育成セミナーと地区指導者育成セミナーに行きまして。参加して改めて思ったのは、会長を受けて簡単に楽しもうと言っていますが、こういう研修で勉強していくと、やはりとてつもないことを受けているんだと、重圧感が今頃おそってきた次第です。皆さんは10年20年とこういった勉強をしてやられてきているんだとひしひしと感じました。ロータリーの原点がどこにあるのか、週一回の例会に出て、如何に人間形成をしていくのか、そしてそれが職業奉仕に繋がっていく、その職業をまっとうに行い人から信頼され仕事生まれてい

く、理念というのが先で、金儲けが先でないというのがロータリーではうたわれているのではないかと思います。

木下地区研修リーダーが話されましたが、世界がロータリーに要望していることは何か。いま世界で起きている事は工業社会から知識基盤社会への転換、誰も知らない世界がやってくるということをドラッカーが言っています。その真っ只中において、変革の要素が3つある。1つがICT情報通信の急速な変化発展、もう1つがグローバル化の進展、3番目が付加価値が大事であった社会から、課題を変えてするとの価値の変換、

USA-OITA

第2720地区 宇佐ロータリークラブ

事務局

〒872-0032 大分県宇佐市江須賀2999-2 (株)ユニックス内

TEL. FAX : 0978-38-2370 <http://www.usa-rotary.com/>

かと戸惑ってしまう。ICTの発達が何をもたらしたか、もともと人と産業を代行する道具だったものが、社会の本質を変える原動力になりつつある。たとえばアラブの春と言われるものがどうして可能だったのか。ICT、SNS、ツイッターにより多くの人自由に意見を交換して瞬時に、組織されて起こった。

ロータリーは良い人、良い人に成りそうな人を集めて良い人にしてきました。ロータリアンは、良い人です。それを週1回の例会でやってきた。何を目指しているかと言うと人類延滞の精神、国際ロータリーですので世界理解そういうことを通して良い社会、ひいては世界平和を実現する。人育てにより世界平和を実現する。2度とない人生を週一回の例会で自分の人格を磨いてたかまってしまうことにより、サービスにつながり奉仕につながるということです。会社経営もこれと全く同じでどう人を育てていくか。

こういった話を聞きもっと奥深い話もありましたが、逆にプレッシャーを感じてしまいました。・・・・・・ロータリーの気品と品格を築いていき、ロータリーに入って良かったな思えるクラブとなるように私も勉強していきたいと思えます。

## 幹事報告

本庄伸子幹事

### 1. 来信

- 1) 宇城RCより「創立10周年記念式典の案内」  
5月24日(土) 13:30~19:00 松橋ホワイトパレスにて

### 2. 例会変更

なし

### 3. 週報受理

中津中央RC、大分キャピタルRC、津久見RC

### 4. 理事会報告

なし

### 5. お知らせ

- 1) 出欠の回覧中です。①各クラブの周年行事案内  
②インターアクトクラブ例会(1/17・月)  
2) 2月25日(火)にロータリー財団年次寄付金等の口座振替を実施致します。  
3) 杵築RCからの職業奉仕アンケートへのご協力をお願いいたします(本日配布)

### 6. 欠席連絡

臼杵 確会員、辛島光司会員、佐々木正博会員  
砂山正則会員、幡手一義会員、松永忠昭会員

### 7. 本日の当番

藤久保茂己会員、藤林鋭司会員

## 委員会報告

### ◎青少年委員会

斉藤順一委員長

来週の月曜日三時半から柳ヶ浦高校にてインターアクトクラブ例会を行います。一人でも多くのご出席をお願いいたします。



## 今月のお祝い

### 【本人誕生日】

河村正一会員：本人誕生日。

### 【配偶者誕生日】

住本憲彦会員

妻の誕生日のお祝いありがとうございました。



## スマイルカード

宮丸龍昭委員長

藤本博和会長：臼杵副会長、幡手会長ノミニー15日のクラブ管理運営セミナー気をつけて行ってください。津々良会員卓話楽しみにしています。

河村正一会員：先日の地区指導者育成セミナーでは、藤本会長、幡手会員にお世話になりました。特に2月8日は馬刺しで誕生日祝をしてくれました。会長ありがとうございました。

石部幸二会員：先日は末宗会員、宮丸会員に大変お世話になりました。津々良会員の卓話楽しみです。

幡手一義会員：藤本会長、河村会員、クラブ研修リーダー育成セミナーでは大変お世話になりました。

ニコニコ累計

441,000円

## 出席報告

米澤哲也委員長

第2289回 (2月13日)

会員総数	32名
(内出席免除)	0名
出席数	27名
(内事前MU)	2名
欠席数	5名
出席率	84.38%

□事前MU 臼杵 確会員(補助金管理セミナー)

幡手一義会員(クラブ研修リーダー育成セミナー)

### □欠席者

辛島会員、是永会員、佐々木会員、砂山会員、松永会員

### ※出席率の更正

◎2/6の出席率は75.00%→78.13%に更正

□事後MU 河村正一会員(地区指導者育成セミナー)

## 内部卓話

### 「雑誌月間について」

津々良洋一雑誌会報委員長

てっきり2月が雑誌月間と思って、雑誌会報の話をする予定にしていたが、事務局の秋野さんから、4月が雑誌月間との指摘を受け、雑誌月間にあたってを雑誌月間についてと題をかえて話を致します。



とはいえ準備不足ですので、配付資料を基に一緒に勉強したいと思います。また、今年度雑誌会報委員会では、仕事の関係で思うように活動できなく、また週報作成等では事務局に大変ご迷惑お掛けしています。この場をお借りして陳謝いたします。

### 「ロータリーの雑誌月間」について

4月は「ロータリーの雑誌月間」です。世界中のロータリアンにとってロータリー雑誌の重要性を認識する特別月間です。

Eメールとインターネットが通信手段として人気を高めていますが、殆どどのロータリアンにとって主たる情報源はやはり印刷物です。このため、ロータリーの雑誌月間はロータリアン誌や地域雑誌を見直すよい機会と言えましょう。



ロータリーの友 日本語 発行部数 120,000  
1953年創刊



ロータリアン誌 英語 発行部数 500,000 1911年創刊

### ロータリーの雑誌について

ロータリーの雑誌には国際ロータリーの公式機関誌であるロータリアン誌 (The Rotarian) と、RI理事会が承認した公式地域雑誌があります。

そして、「ロータリー・クラブの会員は、会員身分を保持する限りこのロータリー雑誌を有料で購読しなければならない」ことになっています。

### ※ ロータリアン誌

ロータリアン誌は1911年以来発行されている公式機関誌で、毎月約50万部が発行されており、大部分はアメリカ合衆国で印刷され、ロータリー・クラブの存在する199の国や地域の読者に郵送されています。

ロータリアン誌の編集部は、読者にとってより価値の高い雑誌を目指し、最近デザインが刷新され、その模様替えの一環として次の3つが新たに登場しました。

1. 地域の問題や世界的問題に対するロータリーの影響を示す欄
2. 現場でのクラブや地区の活動を報道する欄
3. クラブ活動に欠かせない情報をロータリアンに提供するための欄

ロータリアン誌の特集記事には常にロータリーの視点からのニュースが盛り込まれています。また、ロータリアン誌の主要記事は、毎月RIウェブサイト (<http://www.rotary.org>) に掲載されており、ここには数多くの地域雑誌へのリンクも提供されています。

### ※ 地域雑誌

既に20ヶ国語で発行されている27の地域雑誌は、121ヶ国で約75万のロータリアンに定期的に購読されていますが、新たにイスラエル、ポーランド、チェコ共和国、スロバキアが仲間入りして、世界のロータリー雑誌は合計29誌、21ヶ国語で発行され、ほぼ地球の隅々にまでロータリー・ニュースを伝えています。

これらの雑誌は、公式ニュースの発表、RI理事会や財団管理委員会の決定事項の抄録、有意義なクラブ・プロジェクトやRI会長メッセージなど、ロータリーのイメージを紹介することを継続的使命としています。

また、RIウェブサイトでは、これら27の地域雑誌のすべてが紹介されています。

この中で日本の「ロータリーの友」も紹介されていますが、2003年1月に創刊50周年を迎えた「ロータリーの友」は、日本のロータリアン11万有余人が購読義務を有する雑誌で、公式地域雑誌の中では最も発行部数の多い雑誌です。(2002年4月の発行部数は125,800部)

なお、「ロータリーの友」の詳細につきましては、小著「ロータリー雑誌と私」、並びにNo.60『ロータリーと探究』(2002/9/12)で詳しく述べておりますので、ご参照ください。

### ※ ロータリー・ワールド・マガジン・プレス

2002年11月のRI理事会で、30の地域雑誌とロータリアン誌を総称して「ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS」と呼ぶことが決まりました。各地域雑誌では、その発行地域のロータリー・クラブやロータリアンの活動を紹介するとともに、ロータリアン誌から指定される記事と写真をそれぞれの言語に翻訳して掲載しています。

### 雑誌委員会について

ロータリー・クラブ細則の中で、会長は理事会の承認の下にクラブ奉仕の中の特定分野を担当する委員会を設置することが奨められており、その中に雑誌委員会もあげられていますが、雑誌委員会は、「可能であ

る限りクラブ会報編集および地元新聞または広告関係の会員を委員の中に含めなければならない」とされています。

会員数の少ない小さなクラブでは、委員会構成がなかなか思うように行かないと思いますが、当地区の状況についてご報告しますと、杉本地区幹事のお骨折りで地区内各クラブの委員会構成資料をいただくことが出来たので、これをもとに次のように纏めてみました。

	熊本県	大分県	計
雑誌	25	24	49
雑誌・広報	5	3	8
雑誌・会報	3	4	7
雑誌・広報・会報	3	1	4
雑誌・R情報	2	0	2
雑誌・R情報・広報	1	0	1
雑誌・R情報・広報・会報	0	1	1
雑誌なし	2	0	2
計	41	33	74

これによりますと、当地区におきましては、74クラブのうち、雑誌委員会を単独に持っているクラブは49クラブで、雑誌と広報、会報、ロータリー情報を兼任しているクラブが表の通りで、雑誌委員会をもっていないクラブが2クラブあることがわかりました。

### ※ 雑誌委員会の任務

ロータリーの機関誌であるロータリアン誌、並びに地域雑誌である「ロータリーの友」に対する読者の関心を喚起することにあります。

#### 具体的活動

1. プログラム委員会と協力して、4月の雑誌月間に特別行事を行う。
2. 雑誌購読が会員の資格条件の一つであることを強調する。
3. 会員の雑誌に対する関心度を調査する。
4. 雑誌内容について、定期的な紹介を行う。
5. 興味ある記事に関して、クラブ・フォーラムなどを開催する。
6. 雑誌を利用して、会員候補者や会員に、ロータリー情報を提供する。
7. 卓話者、青少年交換学生、ロータリー財団奨学生、米山奨学生、その他ロータリーと関係のある人に贈呈する。
8. 広報委員会と協力して、地域社会のロータリー関係以外の図書館等の公共機関へ雑誌を贈呈する。
9. 「ロータリーの友」にクラブのニュースや写真を投稿する。
10. 英文「ロータリーの友」の購読、配布を奨励する。

以上のごとく、ロータリーの雑誌はロータリアンには欠かせない食事であり、わけても『ロータリーの友』は日本のロータリアンにとっては不可欠の栄養源であります。ロータリーの友委員会で如何にいいメニューを考え、ご馳走を用意しても、これを食べる人に食欲がおきなければ駄目であります。

会員一人一人がロータリーに前向きになり、読む、聞く、体験するなどして一度ロータリーにぶっかかり、『ロータリーの友』の中にロータリーの心を見つかることが大切です。そうすると、それなりに何らかの感動が得られ、更にもう一步突っ込んで知ろうとするようになります。

既に故人になられた湯浅元RI副会長（「友」委員会特別顧問）が学生時代から好きであった“To know is to love”という言葉のように、ロータリーを知れば知るほど、ロータリーが好きになるのではないのでしょうか。わたしは幸いにも「友」委員会合同会議で先生に何回かお会いする機会があり、このことを確認することが出来ました。

こうすることによって自然とロータリーが身につく、キングRI前会長のいう本当のロータリアン（The Real Rotarian）になれるものと思います。

一方、わたし達は自分の部屋にいながらにして国際協議会や国際大会の内容や光景を知ることができ、RI会長とともにロータリー世界を旅行し、数千マイルはなれた場所で行われている素晴らしロータリー・プロジェクトをも知ることができ、ロータリー雑誌の紙面を通してロータリーを楽しむことができます。

とにかく、見る、聞く、体験を通してロータリーを自分のものにしなければなりません。4月はロータリーの雑誌にスポットをあて、ロータリアンの注意を向ける特別な機会です。

毎月定期的に個々のロータリアンに直接届けられる貴重な情報源である『ロータリーの友』を読み、討論したり、ロータリアン以外の人に贈呈したりするのに時間は問いません。

毎月が雑誌月間というわけであります。

（別府中央RC鳴海淳郎先生の資料を拝借しました、お許し下さい。）

